

令和8年度ふれあい祭り　アンケート結果まとめ

令和8年5月

I 調査概要

子どもの権利条例制定に向けたアンケート

■ **調査目的**　子どもの意見表明や安心して過ごせる環境、遊び・学び等について、子どもや大人がどのように感じているかを把握するとともに、今後の子ども等への意見聴取の進め方の参考とするため。

■ **調査日**　令和8年5月10日（日）

■ **調査対象**　ふれあい祭り　来場者

■ **調査方法**　ウェブによる回答
（ご自身のスマートフォンあるいはタブレットから）

■ **回答者数**　258名

■ **質問内容**　年齢・属性別に5種類用意
（設問は次ページのとおり）



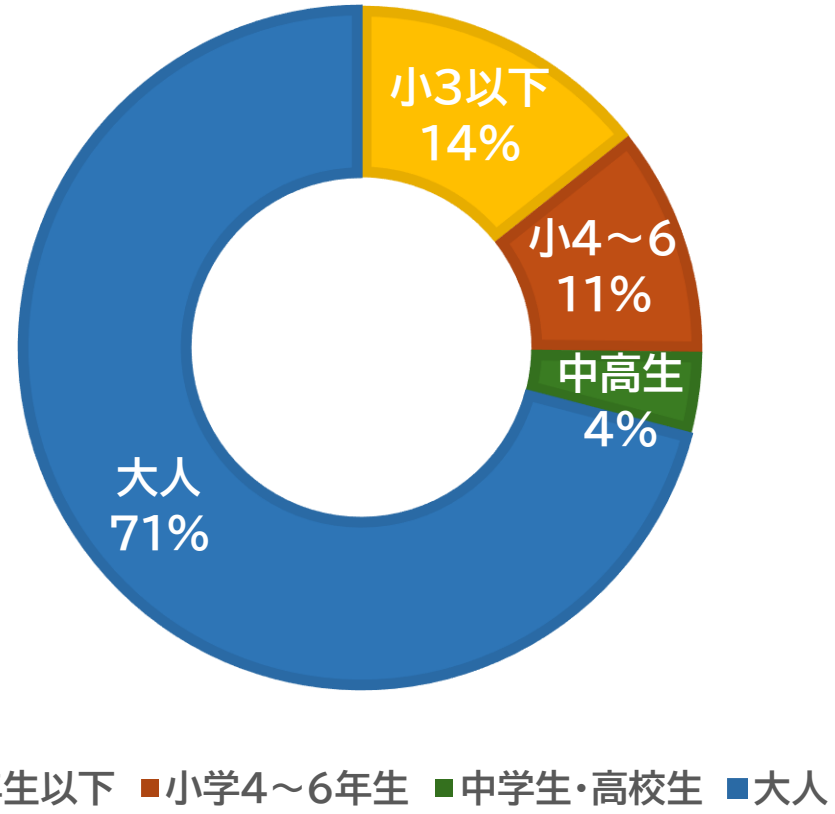
I 調査概要

	①小学3年生以下	②小学4～6年生	③中学生・高校生	④(日常的に子どもと関わる)大人	⑤(日常的に子どもと関わらない)大人
自分の意思で学ぶ権利	やってみたいことや、しりたいことをべんきょうできてる？	学校や家で、「やってみたい」「知りたい」と思ったことに取り組めていますか？	学校や家庭で、自分の興味・関心に基づいて学ぶ機会がありますか？	あなたは、子どもが「やりたい」「知りたい」と言ったことを尊重できていますか？	子どもの権利(安心して過ごす・意見を言うなど)について、どの程度関心がありますか？
	がっこうやおうちで「これやってみたい！」っていえる？	学校や家で、自分の意見ややりたいことを伝えられていますか？	学校のルールや授業、家庭でのことについて、自分の意見を言えると感じますか？	あなたは、子どもが意見を言いやすい関わり方(否定せず聞く等)を意識していますか？	地域の中で、子どもが安心して過ごせる環境が整っていると思いますか？
自分の気持ちを尊重される権利	じぶんのきもち(うれしい・いやだ)をおとなにはなせる？	自分の気持ち(うれしい・不安・いやだ など)を大人に安心して話せますか？	悩みや不安があるときに、安心して相談できる大人(先生・保護者など)がいますか？	子どもが気持ちを話してきたとき、途中でさえぎらず最後まで聞けていますか？	子どもの気持ちや意見が大切にされている社会だと思いますか？
	はなしたとき、おとなはちゃんときいてくれる？	あなたの意見や気持ちは、まわりの大人に大切にされていると感じますか？	自分の意見や気持ちが、学校や家庭で尊重されていると感じますか？	子どもの気持ちを十分に受け止められなかったと感じることがありますか？	子どもと関わることについてどう思いますか？
遊ぶ権利	おうちやがっこうで、あそぶじかんはある？	あなたは、自由に遊べる時間が十分にあると思いますか？	あなたは、勉強や部活動、習い事以外に「自由に過ごせる時間」が十分にあると感じますか？	あなたは、子どもが自由に遊んだり休んだりする時間を意識して確保していますか？	子どもと関わらない理由は何ですか？
	あそびたいあそび(ゲーム・そとあそびなど)をえらべてる？	遊ぶ内容(外遊び・ゲーム・友だちと過ごすなど)を自分で決められていますか？	自分の時間の使い方(遊び・休む・趣味など)を自分で決められていますか？	子どもの遊びや過ごし方について、あなたの都合や考えを優先してしまうことがありますか？	子どもが安心して過ごせる地域にするために大事だと思うことは？
回答者全員	あなたは今、夢がありますか？(ある場合、夢の内容)				
回答者全員	あなたは、東大阪市がすきですか？				

Ⅱ 調査結果

（１）回答者の年齢区分

年齢区分	回答者数(名)
小学3年生以下	37
小学4～6年生	28
中学生・高校生	10
大人	183
合計	258



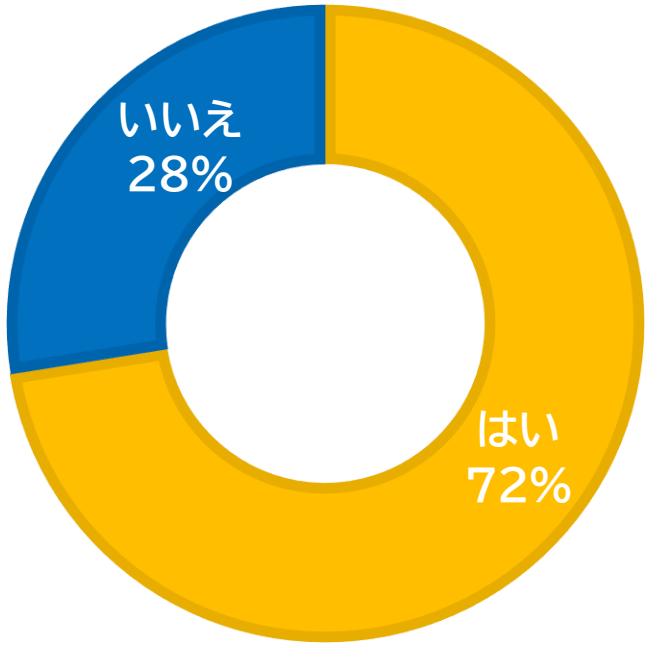
来場者の特徴としては、保護者同伴の就学前～小学3年生頃までの子どもが多く見られた。
中高生世代の来場も一定数見られたが、声かけを行ってもアンケートへの協力につなげることは難しかった。
⇒イベント会場とは別の場面や手法による意見聴取の機会を検討する必要がある。

Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅰ　夢について

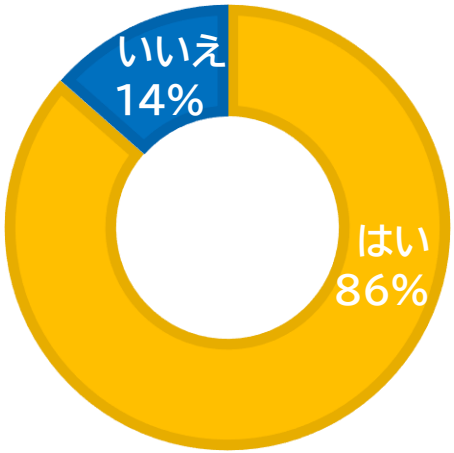
Q　あなたは今、夢がありますか？

回答者全員

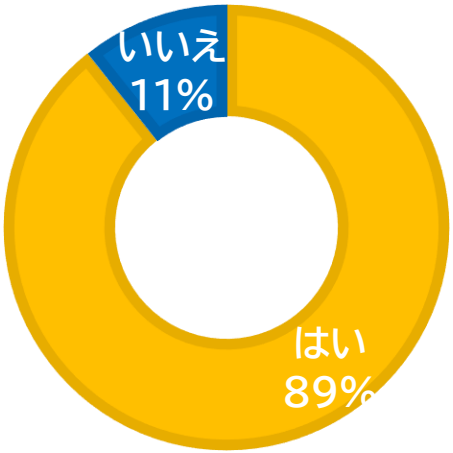


年代別

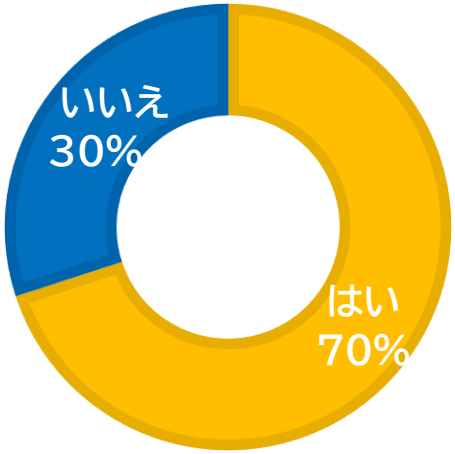
小学３年生以下



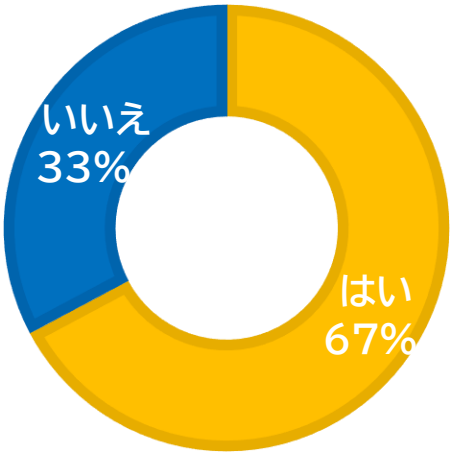
小学４～６年生



中学生・高校生



大人



Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅰ　夢の内容　＆（大人に向けて）子どもとの日常的な関わりについて

小学3年生以下

宇宙飛行士、電車の運転士、イラストレーター、美容師、看護師、警察官、パン屋さん、保育士、Youtuber、パティシエ
ピアノが上手くなりたい、サッカーとラグビーが上手くなりたい、ヒーローになりたい、きょうりゅうになりたい

小学4～6年生

野球選手、漫画家、デザイナー、お笑い芸人、美容師、お金持ち、自分の会社を立ち上げる、脚本家、教師、プロゲーマー、色んな車に乗りたい、1級建築士になって、家族の家をつくりたい、速く走りたい、子どもに尊敬される親になりたい

中学生・高校生

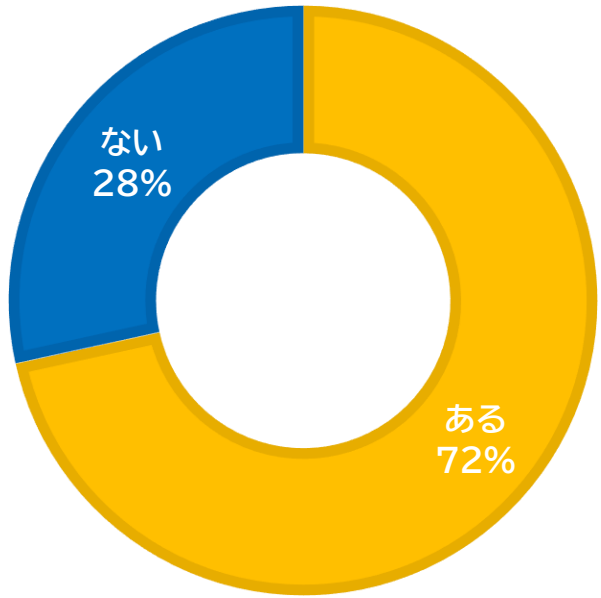
トリマー、プロテニスプレイヤー
幼稚園の先生、小学校の先生、シェフ、動物に関わる仕事、（韓国語を習っているので）英語や韓国語を使う仕事がしたい

大人

世界一周、海外に住みたい、家族と楽しく過ごしたい
子どもを大切に育てたい、健康に暮らしたい、地域貢献、新しい仕事を始めたい、起業、良いオトナになりたい、
孫やひ孫を見たい、宝くじを当てたい

Q　現在、日常的に子どもと関わる立場にありますか？（家庭・仕事・地域活動など）

回答者：大人（183名）

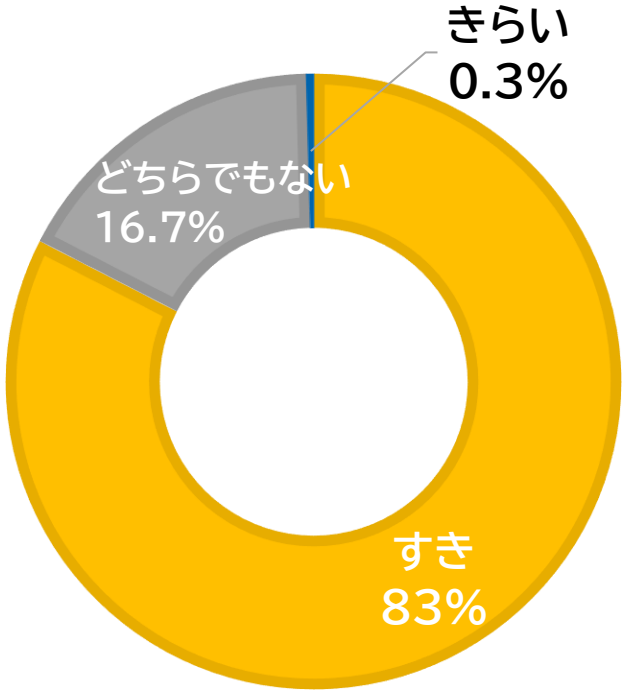


Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅱ　市への愛着について

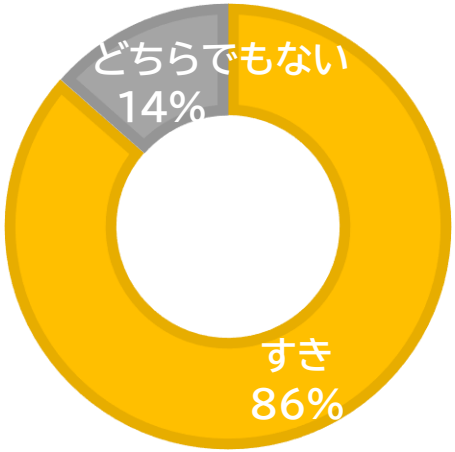
Q　あなたは、東大阪市がすきですか？

回答者全員

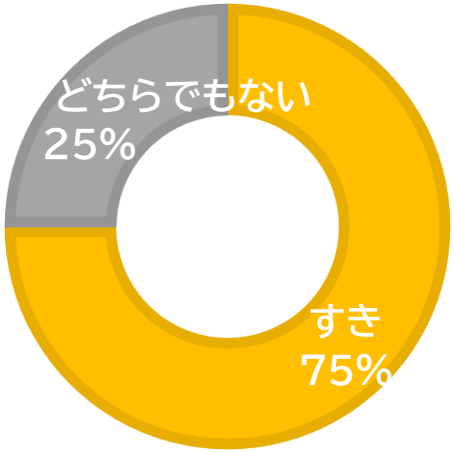


年代別

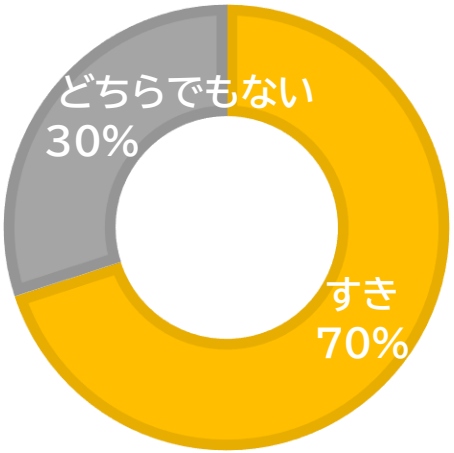
小学３年生以下



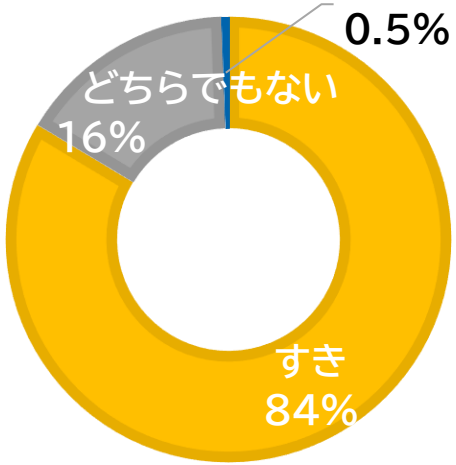
小学４～６年生



中学生・高校生



大人



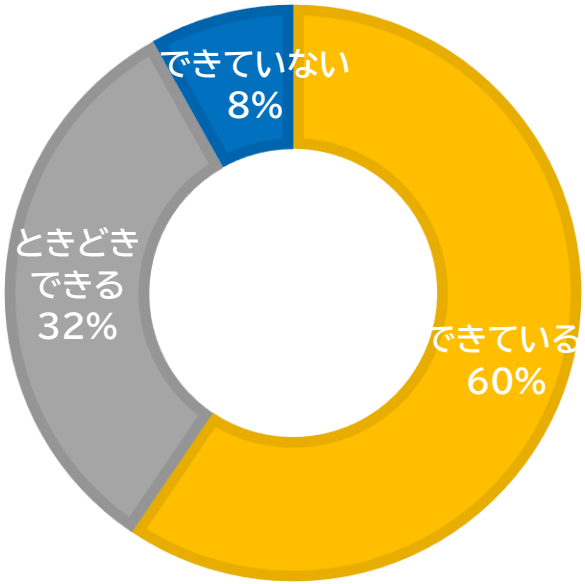
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

小学３年生以下（37名）

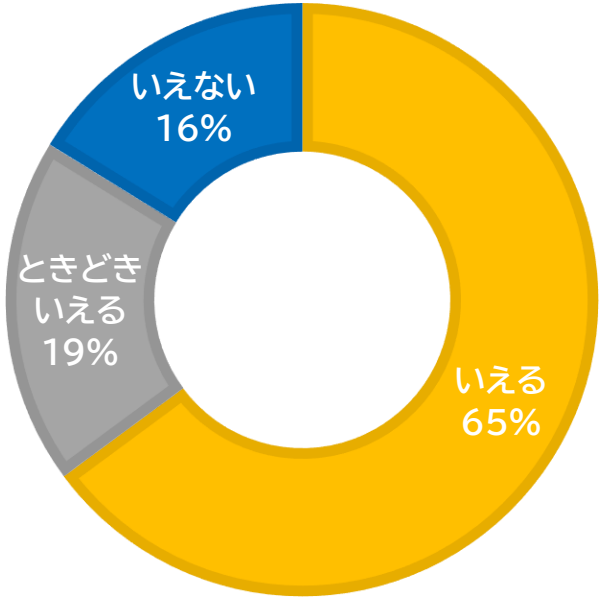
Q やってみたいことや、しりたいことをべんきょうできている？

自分の意思で学ぶ権利



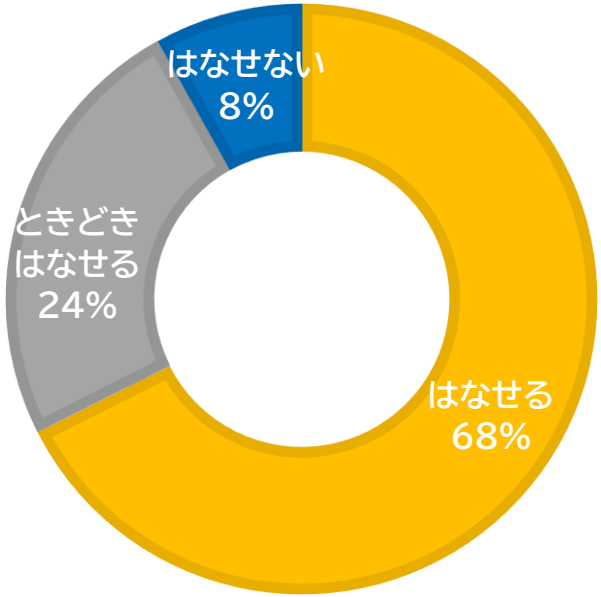
Q がっこうやおうちで「これやってみたい！」っていえる？

自分の意思で学ぶ権利



Q じぶんのきもち（うれしい・いやだ）をおとなにはなせる？

自分の気持ちを尊重される権利



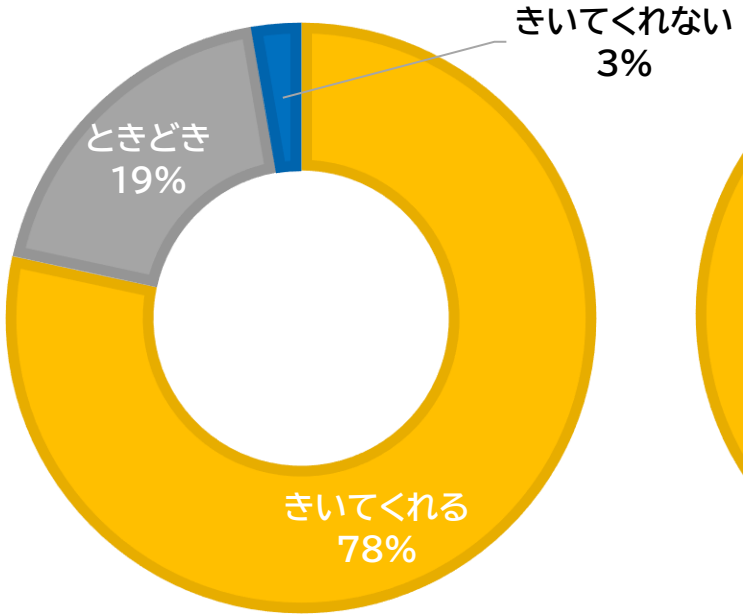
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

小学３年生以下（37名）

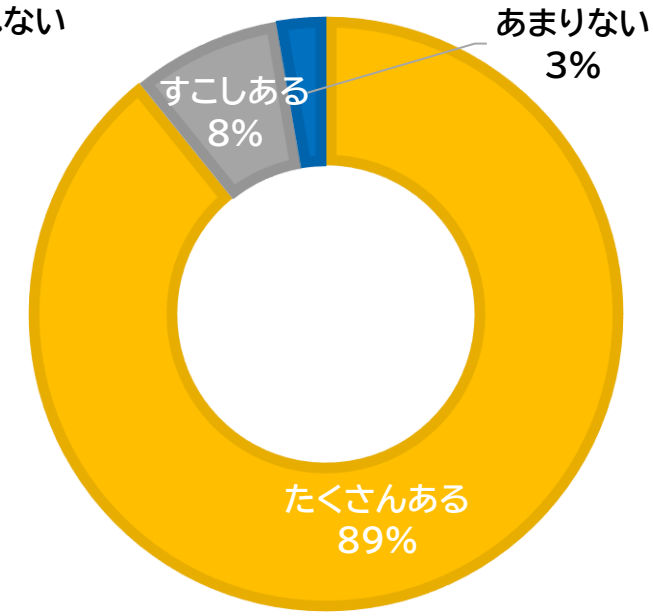
Q はなしたとき、おとなは ちゃんときいてくれる？

自分の気持ちを尊重される権利



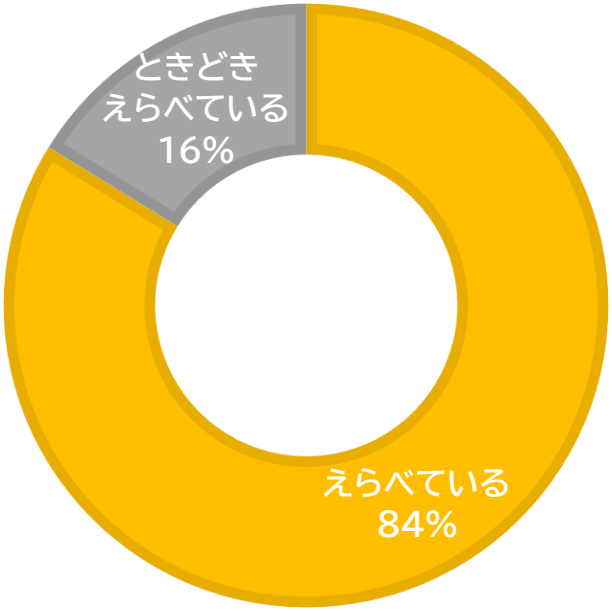
Q おうちやがっこうで、あそぶじかんはある？

遊ぶ権利



Q あそびたいあそび(ゲーム・そとあそびなど)をえらべてる？

遊ぶ権利



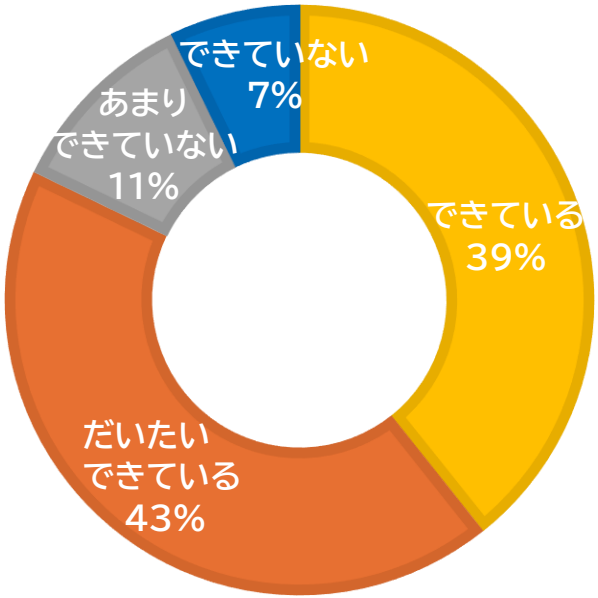
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

小学４～６年生（28名）

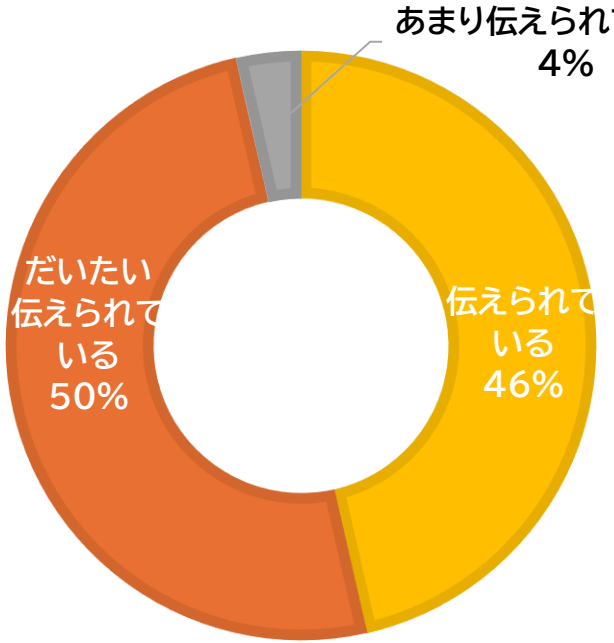
Q 学校や家で、「やってみたい」・「知りたい」と思ったことに取り組めていますか？

自分の意思で学ぶ権利



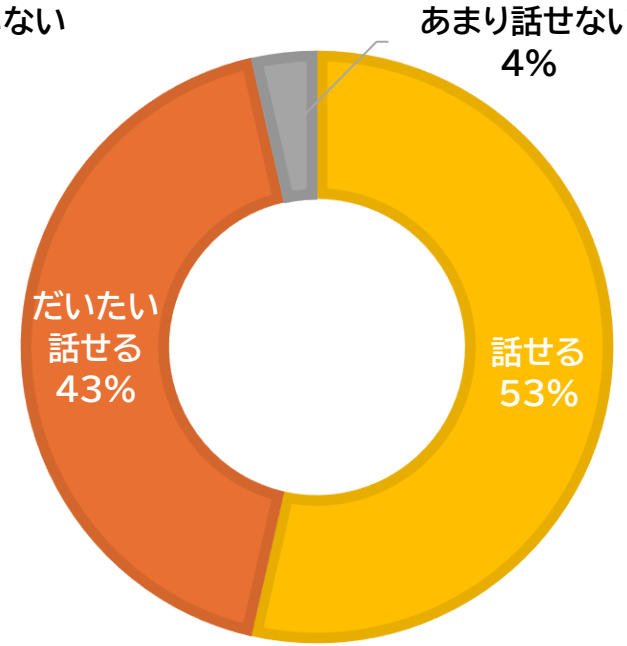
Q 学校や家で、自分の意見やりたいことを伝えられていますか？

自分の意思で学ぶ権利



Q 自分の気持ち（うれしい・不安・いやだなど）を大人に安心して話せますか？

自分の気持ちを尊重される権利



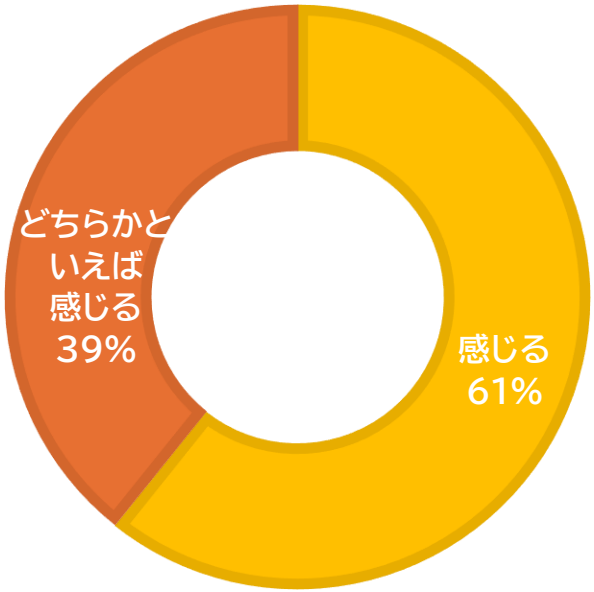
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

小学４～６年生（28名）

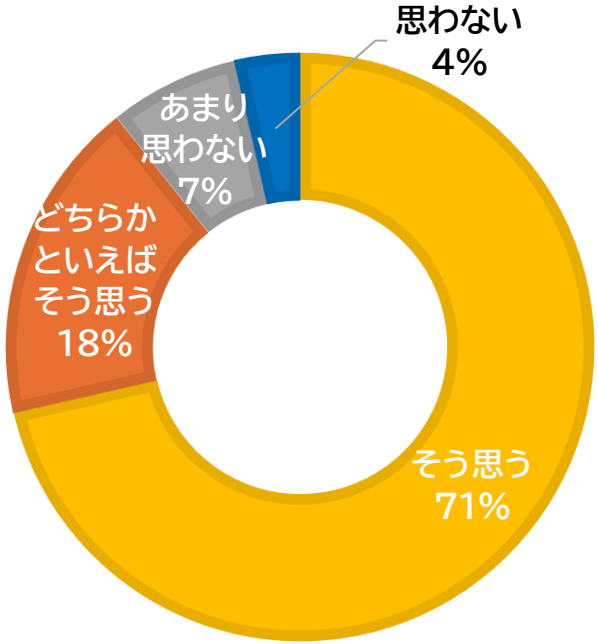
Q あなたの意見や気持ちは、まわりの大人に大切にされていると感じますか？

自分の気持ちを尊重される権利



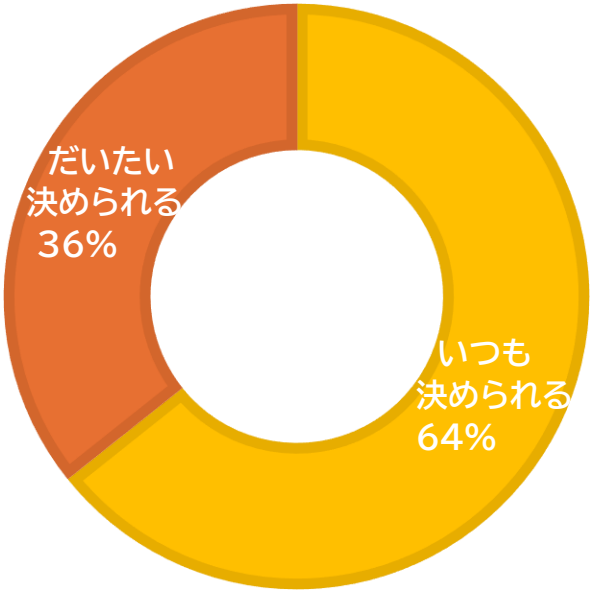
Q あなたは、自由に遊べる時間が十分にあると思いますか？

遊ぶ権利



Q 遊ぶ内容(外遊び・ゲーム・友だちと過ごすなど)を自分で決められていますか？

遊ぶ権利



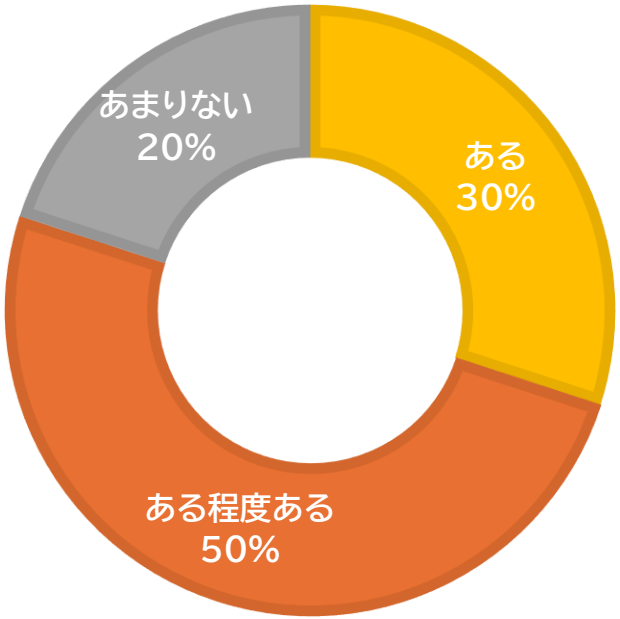
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

中学生・高校生（10名）

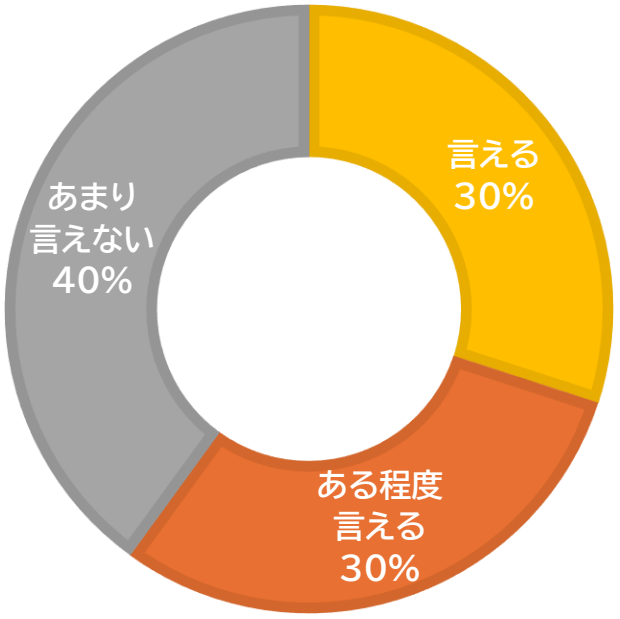
Q 学校や家庭で、自分の興味・関心に基づいて学ぶ機会がありますか？

自分の意思で学ぶ権利



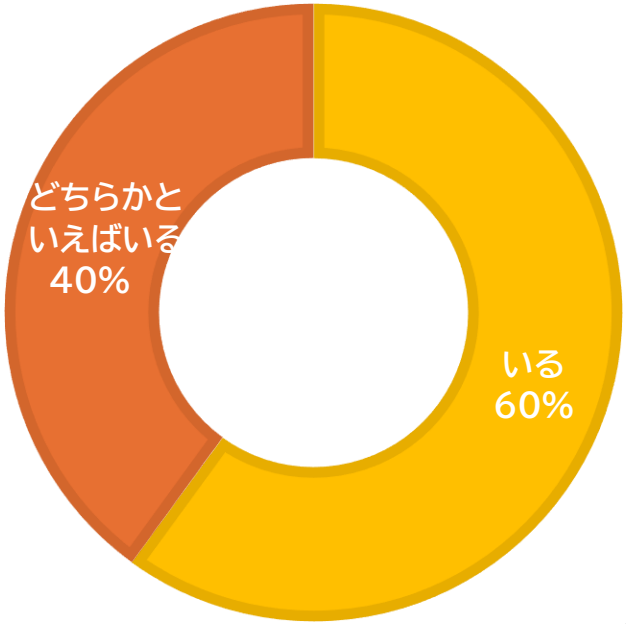
Q 学校のルールや授業、家庭でのことについて、自分の意見を言えると感じますか？

自分の意思で学ぶ権利



Q 悩みや不安があるときに、安心して相談できる大人(先生・保護者など)がいますか？

自分の気持ちを尊重される権利



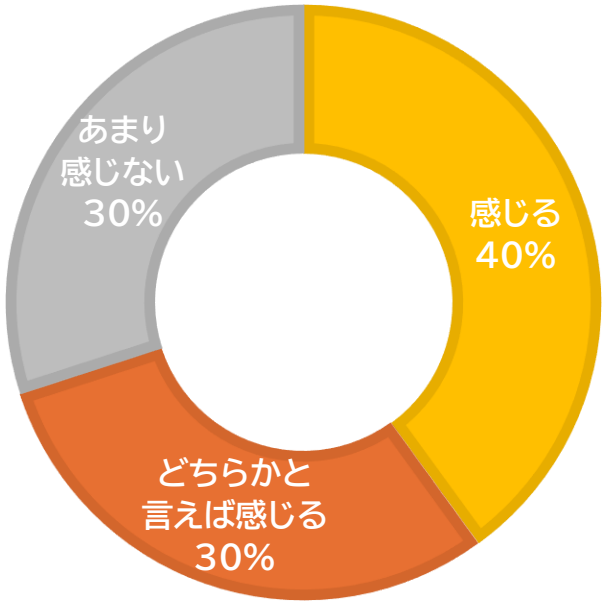
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

中学生・高校生（10名）

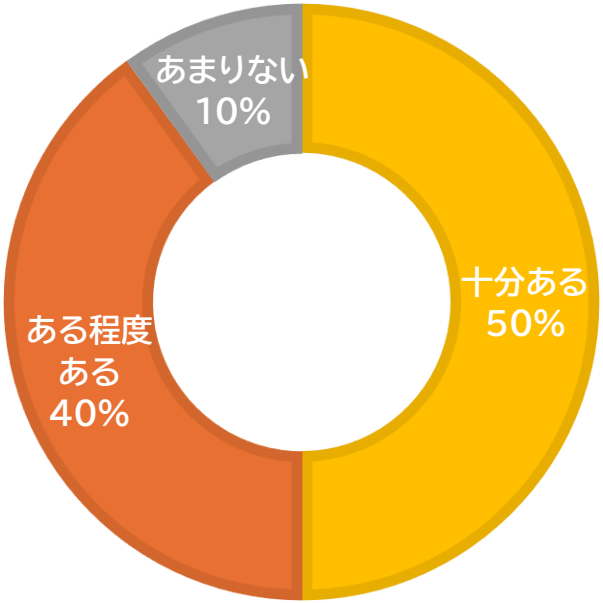
Q 自分の意見や気持ちが、学校や家庭で尊重されていると感じますか？

自分の気持ちを尊重される権利



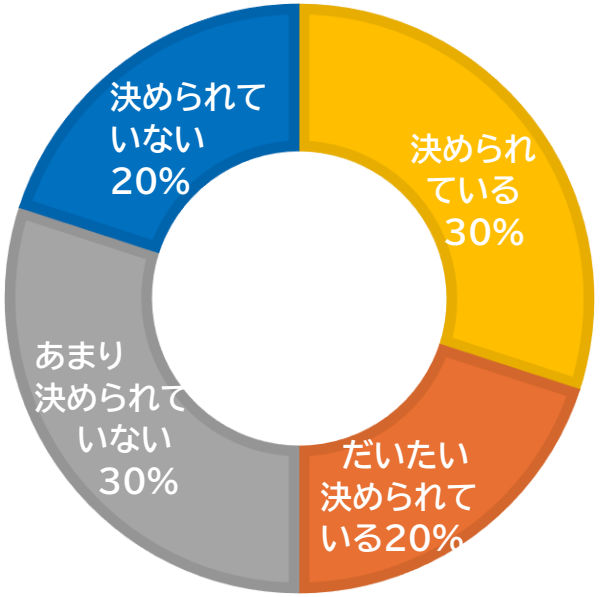
Q あなたは、勉強や部活動、習い事以外に「自由に過ごせる時間」が十分にあると感じますか？

遊ぶ権利



Q 自分の時間の使い方(遊び・休む・趣味など)を自分で決められていますか？

遊ぶ権利



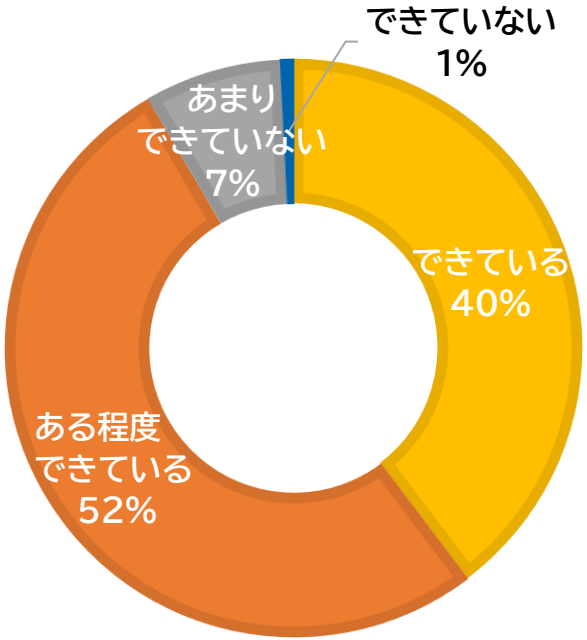
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

大人【日常的に子どもと関わる方】（131名）

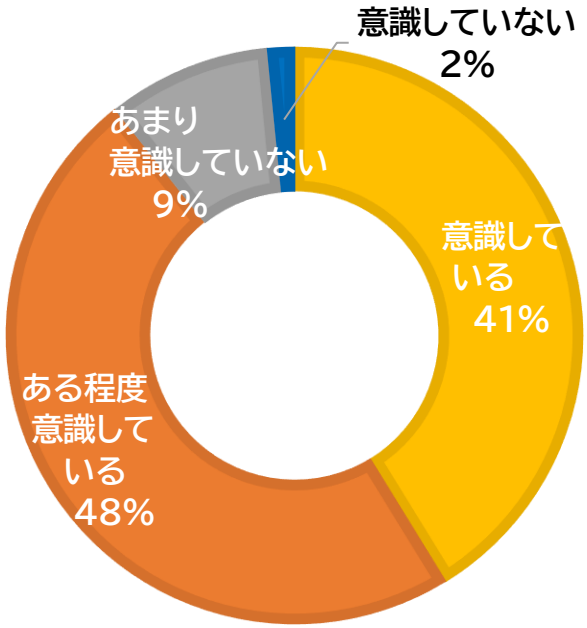
Q あなたは、子どもが「やりたい」「知りたい」と言ったことを尊重できていますか？

自分の意思で学ぶ権利



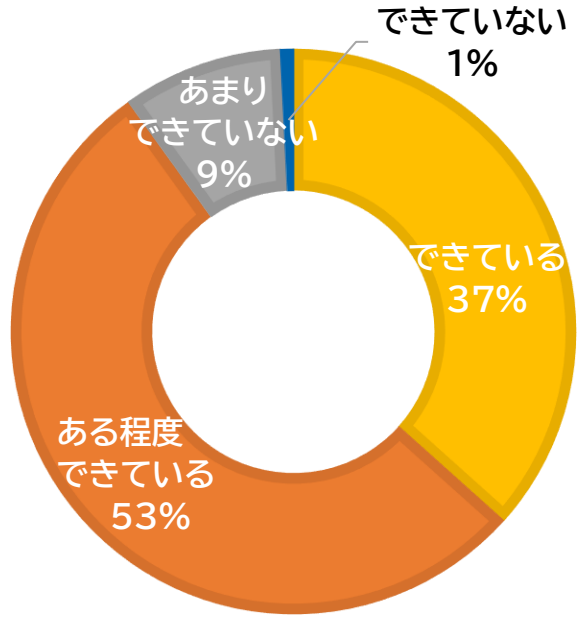
Q あなたは、子どもが意見を言いやすい関わり方(否定せず聞く等)を意識していますか？

自分の意思で学ぶ権利



Q 子どもが気持ちを話してきたとき、途中でさえぎらず最後まで聞けていますか？

自分の気持ちを尊重される権利



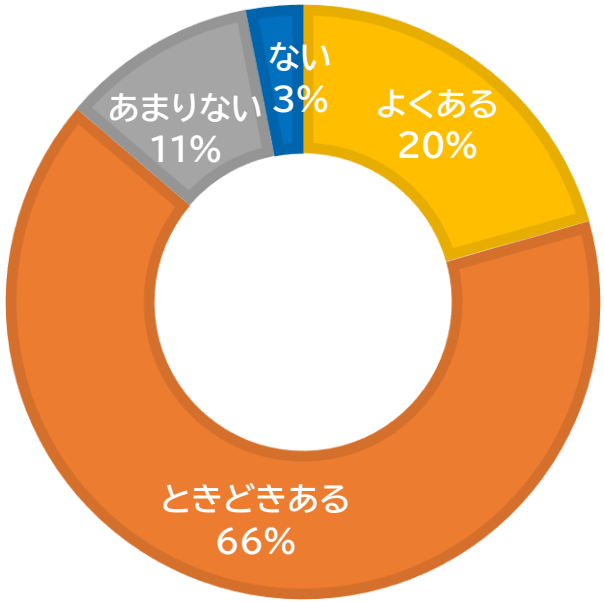
Ⅱ 調査結果

（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

大人【日常的に子どもと関わる方】（131名）

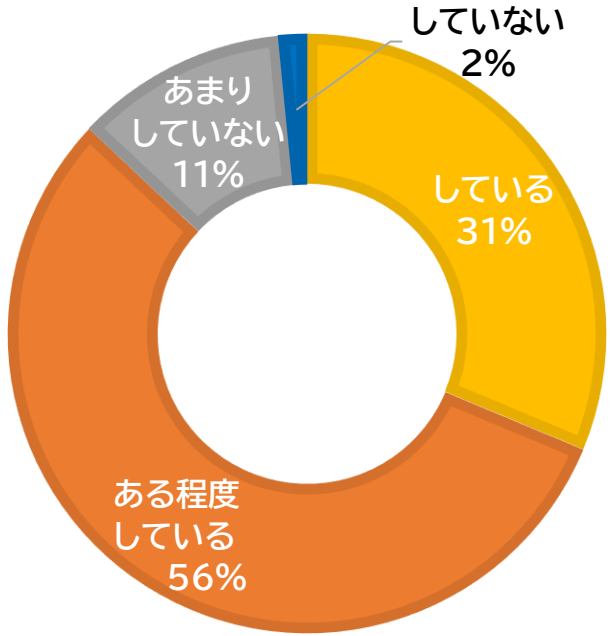
Q 子どもの気持ちを十分に受け止められなかったと感じることがありますか？

自分の気持ちを尊重される権利



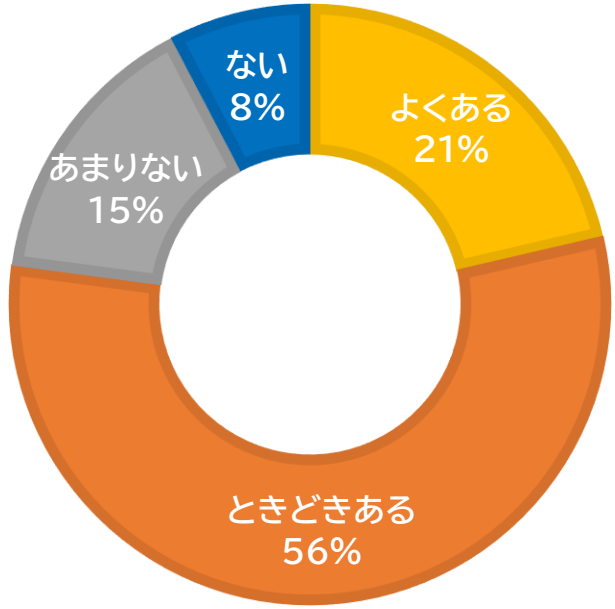
Q あなたは、子どもが自由に遊んだり休んだりする時間を意識して確保していますか？

遊ぶ権利



Q 子どもの遊びや過ごし方について、あなたの都合や考えを優先してしまうことがありますか？

遊ぶ権利

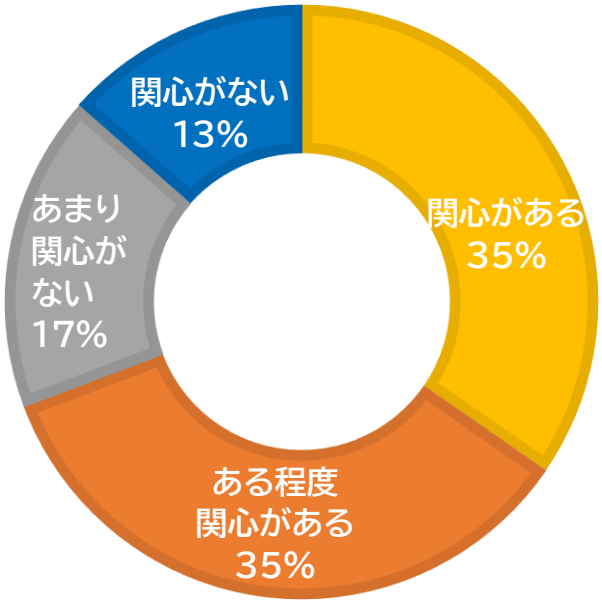


Ⅱ　調査結果

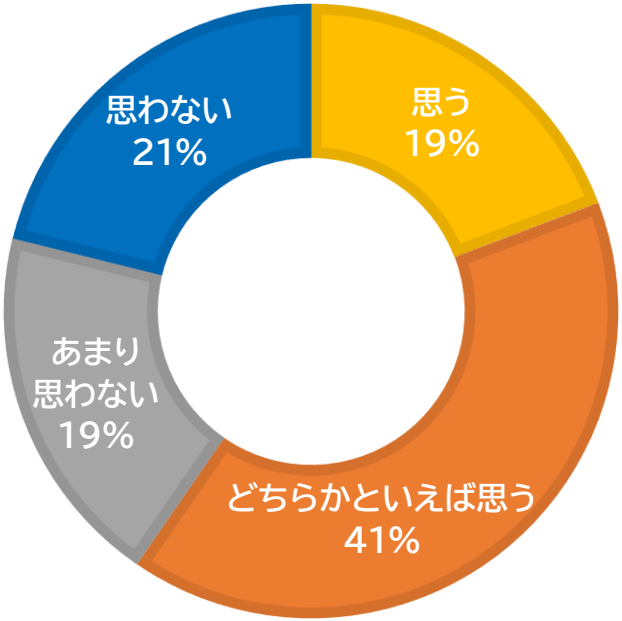
（２）アンケート結果　　Ⅲ　【年代別】子どもの権利について

大人【日常的に子どもと関わらない方】（52名）

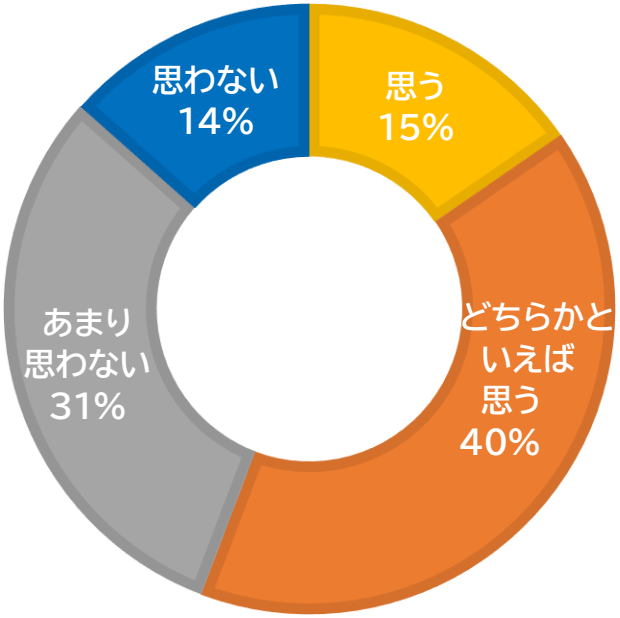
Q　子どもの権利(安心して過ごす・意見を言うなど)について、どの程度関心がありますか？



Q　地域の中で、子どもが安心して過ごせる環境が整っていると思いますか？



Q　子どもの気持ちや意見が大切にされている社会だと思いますか？

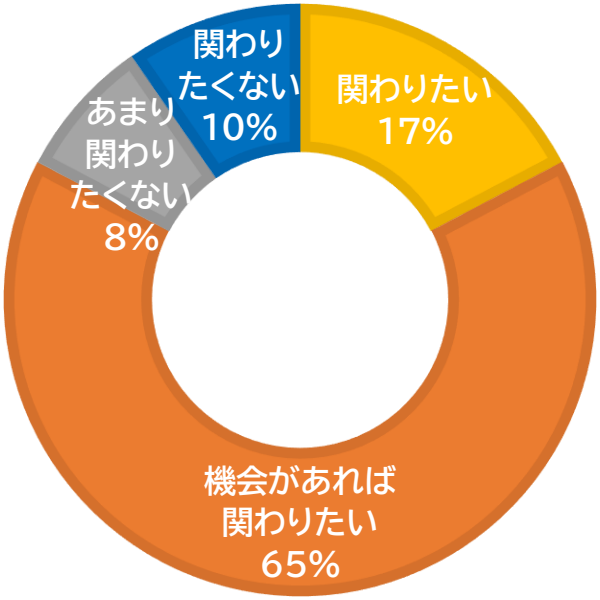


Ⅱ 調査結果

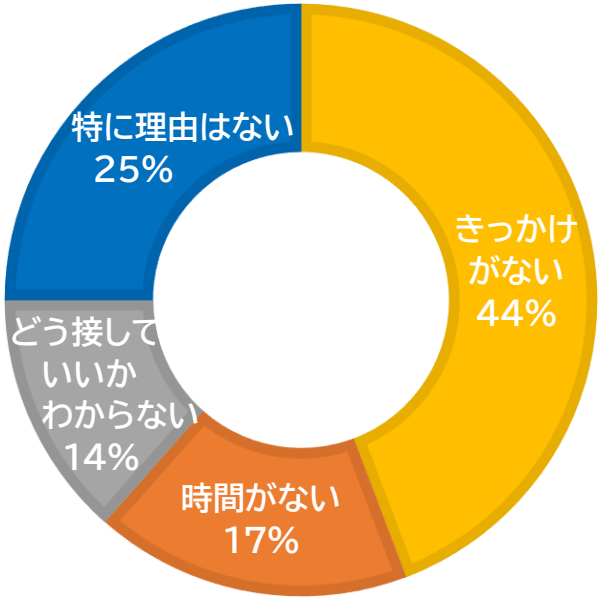
（２）アンケート結果　　Ⅲ 【年代別】子どもの権利について

大人【日常的に子どもと関わらない方】（52名）

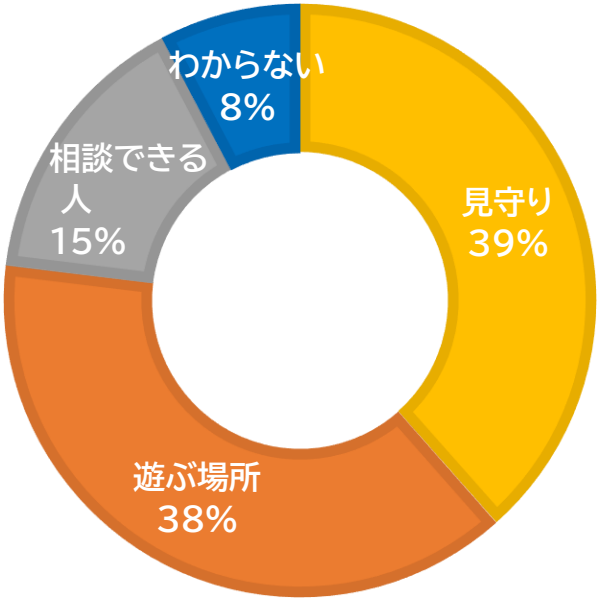
Q 子どもと関わることについてどう思いますか？



Q 子どもと関わらない理由は何ですか？



Q 子どもが安心して過ごせる地域にするために大事だと思うことは？



Ⅱ 調査結果

（3）アンケート結果　考察

1. 夢や市の愛着度について

「今、夢がありますか」という設問では、全体として約7割が「ある」と回答した。特に小学生では「ある」と回答した割合が高く、小学3年生以下では86%、小学4～6年生では89%となっていた。一方で、中学生・高校生は「ある」の回答割合がやや低下している。
また、「東大阪市がすきですか」という設問については、全体として肯定的な回答が多く、子ども世代では特に高い割合で「好き」と回答していた。

2. 子どもの権利について

ポイント① 【子ども】小学校低学年までは肯定的回答が多い傾向

小学3年生以下では、「やってみたいことを勉強できている」、「気持ちを大人に話せる」、「遊ぶ時間がある」といった設問に対し、肯定的回答が全体として高かった。特に「遊ぶ時間がある」は約9割が肯定的回答であった。
一方で、実施時の聞き取りでは、質問内容の理解に時間を要する場面も見られ、回答には職員や保護者による補足説明が必要なケースが多かった。

ポイント② 【子ども】学年が上がるにつれ、「一部できていない」という認識が増える傾向

小学4年生以上になると、「だいたい」「どちらかといえば」といった中間的回答が増え、設問ごとに考えながら回答している様子が見られた。
また、中学生・高校生では、「意見をあまり言えない」、「気持ちが尊重されているとあまり感じない」、「時間の使い方を決められていない」といった回答も一定数見られた。 特に、「学校や家庭で意見を言えるか」については4割が「あまり言えない」と回答しており、年齢が上がるにつれ、自分の意見を表明しにくいと感じる場面が増えている可能性がうかがえる。

ポイント③ 【大人】日常的に子どもと関わる大人は子どもの権利について意識している一方、難しさも抱えている

日常的に子どもと関わる大人について、「子どもの意見を尊重している」、「否定せず聞くことを意識している」という回答が多かった。
一方で、「子どもの気持ちを十分受け止められなかったと感じる」、「大人の都合を優先してしまうことがある」についても、「ときどきある」が半数以上を占めていた。 このことから、子どもの権利を意識しながら関わろうとしている一方、実際の生活や関係性の中で難しさを感じている大人も多いことがうかがえる。

ポイント④ 【大人】日常的に子どもと関わらない大人は、「関心はある」ものの、実際には距離がある

日常的に子どもと関わらない大人について、「関心がある」、「ある程度関心がある」が約7割、「機会があれば関わりたい」が約6割と、子どもへの関心自体は一定見られた。 一方で、「地域の中で、子どもが安心して過ごせる環境が整っている」、「子どもの気持ちや意見が大切にされている社会」については、肯定的回答が半数程度にとどまっていた。
また、子どもと関わらない理由としては、「きっかけがない」、「どう接してよいかわからない」といった回答が見られたことから、地域全体で子どもと関わるきっかけづくりが課題であると考えられる。